

責任あるマーケティング：子供へのマーケティングを禁止



正しい方法での成長と地域社会への責任ある対応

ザ・コカ・コーラ・カンパニー（TCCC）は13歳未満*の子供や、媒体に接触する人のうち、**13歳未満の子供が30%以上を占める媒体**に対しては、栄養的側面に関係なく、TCCCのいかなる製品も**販売しない**よう取り組んでいる。子供がTCCCの一部の飲料製品の最終消費者になる可能性はあるが、**TCCCのマーケティングやコミュニケーションの対象となっては**いけない。

* 2022年1月1日より適用。

ザ・コカ・コーラ・カンパニー（TCCC）は、より高い年齢基準で子供を定義するすべての地域の規制を尊重し、適用する。

基本方針

1 子供が飲用に関して、意思決定者である親や保護者の役割を尊重する

TCCCは、常にポリシーの精神と文言を尊重するよう取り組んでいる。



2 最低年齢の基準は13歳とする

TCCCのマーケティングは、いかなる場合でも、13歳未満の子供を直接対象としない。



3 TCCCのマーケティングは13歳未満の子供を主な訴求対象とすることはできない



マーケティングや広告を展開、コンテンツ制作など、いかなる方法において13歳未満の子供に訴求をしない

4 媒体接触者のうち13歳未満が30%以上を占める、いかなるチャネルにおいてマーケティングを行わない



適用範囲

5 本ポリシーはすべてのマーケティングに適用される

具体的には、13歳未満の子供が主な訴求対象である場合、次のいかなる素材も使用しない。



著名人、インフルエンサー、キャラクター。ただし、TCCCが所有しているコカ・コーラ社製品のブランドキャラクター*は除く。



玩具



ゲーム、オンラインゲーム、コンテスト、イベント



映画・テレビなどのコンテンツとの提携

本ポリシーから適用除外されるTCCCが所有しているコカ・コーラ社製品のブランドキャラクターは、以下のものに限定される：コカ・コーラサンタ、TCCCのポーラーベア、中国の旧正月人形、フェアライフの乳牛。ただし、13歳未満を対象とする方法に限って使用することができる。

6 本ポリシーはグローバルである



世界各国の文化の違いに関係なく適用される。

7 本ポリシーには、適宜、地域のガイドラインが含まれる



8 本ポリシーは、栄養的側面に関係なく、TCCCのすべての製品とブランドに適用される。



9 本ポリシーは、ボトラー、完全子会社、エージェンシーおよびメディアパートナーに適用される。



カスタマーや外部のパートナーと協力して、コンプライアンスを確保する。

応用

10

本ポリシーは、以下を含む（ただし、これに限定されない）すべての媒体に適用される。

- ・テレビ・映画
- ・印刷
- ・ラジオ
- ・ウェブサイト・アプリ
- ・ソーシャルメディア
- ・携帯電話
- ・動画共有サービス
- ・屋外

11

13歳未満の子供を主な対象とするイベントやエンターテインメントのイベントのブランドによるスポンサーシップを禁止する

12

いかなるマーケティングでも、親や保護者がそばにいない状態で、13歳未満の子供を使用することはできない

ストーリーの大部分に親や保護者が登場していない場合は、13歳未満の子供を取り上げたり、子供のナレーションを使用することはない。タレントは13歳以上でなければならず、外見もナレーションも13歳以上でなければいけない。

いかなるマーケティングでも、親や保護者がそばにいるかどうかにかかわらず、5歳未満の子供、または5歳未満に見える子供を取り上げない。

13歳未満の子供が取り上げられる場合は、ストーリーの大部分に親や保護者を登場させる必要があり、親か保護者の顔と体が最低限見えていなければいけない。

13

本ポリシーは、TCCCやボトリングパートナーが直接管理する、あらゆるPOS素材および製品のすべてのパッケージに適用される

学校

14

TCCCのグローバル スクール ビバレッジ ガイドラインは、本ポリシーに含まれている

TCCCは、学校でのマーケティング活動や広告展開を許可していない。

小学校* では、水、100%果汁飲料/スムージー、乳飲料、特定の栄養基準に基づく植物由来飲料の販売のみ許可する。自販機やクーラーには、選択ボタンを除き、一切ブランディングしない。

中学校/高校で当社の飲料製品を販売する際は、学校当局と協力して、飲料製品一式（水、果汁製品およびレギュラー版、低カロリーまたはゼロカロリー版のその他の飲料製品）を用意する。

* 児童の30%以上が13歳未満のすべての学校に適用されます。

コンプライアンス

15

本ポリシーに対するコンプライアンスは、定期的に精査される

これには、社内および/または社外の監査担当者がランダムに行う監査や、当社が米国証券取引委員会に定期的に提出している書簡に関連した幹部が行う宣言や開示が含まれる場合があるが、これに限定されない。

法的な制約がある場合や、正式に例外が認められる場合を除き、TCCCのすべてのポリシーに対するコンプライアンスが求められる。